



Installation Notes

Contents

概要	2
Enterprise Reporterソフトウェアのバージョン	2
インストール処理の概要	3
アドミニストレーター・インストール	3
ユーザー・インストール	4
ディスク容量	7
ハードウェア・ソフトウェア環境の概要	7
ショートファイル名のインストール	7
Windowsオペレーティングシステムファイル	8
SASシステムのバージョンの更新	8
Windowsのレジストリの更新	8
ユーザー初期化ファイル	11
Enterprise Reporterソフトウェアライセンスの更新	11
Enterprise ReporterソフトウェアをSASシステム環境に統合する	12

概要

このマニュアルでは、Enterprise Reporterソフトウェアのインストール処理を技術的に説明します。以下に該当する場合は、このマニュアルを参照してください。

- インストール時に障害が発生した
- Windowsシステムで要求されるファイル名を知る必要がある
- Windowsのレジストリの更新に関する情報を知りたい
- Enterprise Reporterソフトウェアを既存のSASソフトウェア構成に統合したい

Enterprise Reporterソフトウェアのバージョン

このCDには、以下の2種類のEnterprise Reporterソフトウェアインストールバージョンが収録されています。

- **Standard Edition**
- **SAS System Edition**

Standard Editionには、Enterprise Reporterソフトウェアの動作に必要なSASシステムコンポーネントがすべて含まれています。SASシステムをインストールしていない社内のすべてのPCユーザーには、このStandard Editionをインストールしてください。Standard Editionには、以下のSASシステムソフトウェアが含まれています。

- Base SASソフトウェア
- SAS/FSPソフトウェア
- SAS/GRAPHソフトウェア
- SAS/CONNECTソフトウェア
- SAS/ACCESS To PC File Formatsソフトウェア
- SAS/ACCESS To ODBCソフトウェア
- SAS/ACCESS To ORACLEソフトウェア
- SAS/ACCESS To SYBASEソフトウェア

SAS System Editionでは、インストール済のSASシステムに追加するための、Enterprise Reporterソフトウェアが含まれています。社内のSASシステムユーザーには、このバージョンをインストールします。

SAS System Editionをインストールする前に、以下のソフトウェアのインストールが必要です。

- Windows版SASシステム リリース 6.12 TS-020
- Windows版SASシステム リリース 6.12 TS-045以降

以下のSASシステムプロダクトが必要です。

- Base SASソフトウェア
- SAS/FSPソフトウェア
- SAS/GRAPHソフトウェア

以下のプロダクトはオプションです。

- SAS/CONNECTソフトウェア
- SAS/ACCESSソフトウェア

クライアント / サーバ環境でEnterprise Reporterを実行する場合は、PCとサーバの両方にSAS/CONNECTソフトウェアをインストールする必要があります。

Enterprise Reporterの2種類の違いは、Standard Editionでは、Enterprise ReporterソフトウェアとSASシステムがインストールできます。SAS System Editionは、既にインストール済のSASシステム環境に対しEnterprise Reporterソフトウェアをインストールするものです。

一般に、社内では両方のバージョンをインストールします。Standard Editionは、大多数の一般ユーザー用で、SAS System Editionは、SASシステムとEnterprise Reporterソフトウェアの両方を実行する上級ユーザー用です。

インストール処理の概要

Enterprise Reporterソフトウェアのインストール処理は、2段階に分かれています。最初に、アドミニストレーターがインストールメディアのソフトウェアをネットワークにインストールし、カスタマイズを行います。次に、ユーザーが、ネットワーク上のカスタマイズ済のEnterprise Reporterソフトウェアからユーザー・インストールを実行します。

ネットワーク・フォルダとファイル位置を指定する場合、Enterprise Reporterソフトウェアのアドミニストレーター・インストールとユーザー・インストールは、両方とも、同一のドライブとマッピングを使用する必要があります。

アドミニストレーター・インストール

アドミニストレーターインストールは、Enterprise Reporterソフトウェアの各バージョンについて1回だけ行い、以下のステップで構成されます。

1. CDからネットワークのディレクトリにソフトウェアをインストールする
2. すべてのユーザーが使用するEnterprise Reporterファイルのディレクトリをネットワーク上に定義する
3. 使用するEnterprise Reporterソフトウェアのバージョンにライセンスを更新する

Standard EditionとSAS System Editionの両方をインストールする場合は、アドミニストレーター・インストールを2回実行し、それぞれ独立したフォルダにします。カスタマイズ済の設定を含む、Enterprise Reporterソフトウェアの初期化ファイル(admin.ini)は、それぞれのアドミニストレーター・インストールの後に作成されます。

SAS System Editionは一度インストールすると、PC内のSASシステムではなく、ネットワーク上のSASシステムのバージョンを示します。この方法により、ユーザーはSASシステムのConfigファイルを変更せずに、Enterprise Reporterソフトウェアを直接実行することができます。

Enterprise Reporter ¥ Businessフォルダー

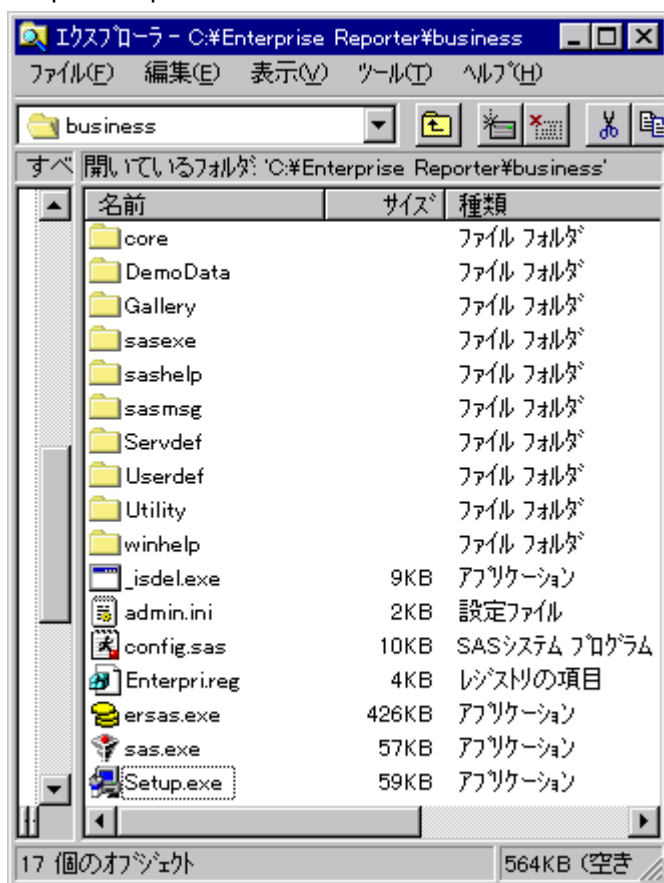


図1: Enterprise Reporter フォルダ (注: 表示されているファイルは、その一部です。)

- admi.ini (Enterprise Reporterソフトウェア初期化ファイル)
- Enterpri.reg (Windowsレジストリファイル)
- Setup.exe (ユーザーインストールsetup.exeファイル)

アドミニストレーター・インストールが完了すると、カスタマイズ済のEnterprise Reporterソフトウェアのバージョンがネットワーク上に配置されます。インストールに用いたPCでは、スタートメニュー・ボタンの下にEnterprise Reporter SAS System EditionまたはStandard Edition Enterprise Reporterクイックツアー、Enterprise Reporter ライセンス情報更新という3つのプログラムが追加されます。これでアドミニストレーター・インストールが完了です。アドミニストレーターのPCでは、ユーザー・インストールを行う必要はありません(ただし、ネットワーク上のSASユーザーでは、ユーザー・インストールを行ってください)。

ユーザー・インストール

ネットワーク上のEnterprise Reporterフォルダ内のsetup.exeファイル(図1を参照)を実行すると、ユーザー・インストールが開始されます。ユーザー・インストールは、Enterprise Reporterソフトウェアを実行するすべてのPCで行ってください。

ヒント: フォルダがWindowsのデスクトップに直接、ショートカットを作成してください。ショートカットは、Enterprise Reporterフォルダのsetup.exeをリンク先に指定する必要があります。たとえば、U:¥SAS¥Business¥setup.exeとなります。ユーザー・インストール・プログラムがデスクトップにアイコンとして表示されます。Setup.exeのショートカットを作成し、ユーザーへ配布します。配布については、Eメールに添付するか、ユーザーがネットワークに接続する時に、各PCで自動的にロードするようにしてください。

通常、ユーザーはインストールの種類を選択するだけです：（図2を参照）

- ・ ネットワークインストール
Enterprise Reporterソフトウェアをネットワークから直接実行します。ローカルでメンテナンスを行わず、ローカルPCのみにユーザーファイルを保存する場合にこのバージョンを使用します。
- ・ ローカルインストール
Enterprise ReporterソフトウェアのバージョンをネットワークからPCインストールにコピーインストールします。ネットワークに接続していない時にEnterprise Reporterソフトウェアを実行する必要がある場合や、ネットワークのトラフィックを最小限に抑えたい場合にこのバージョンを用います。

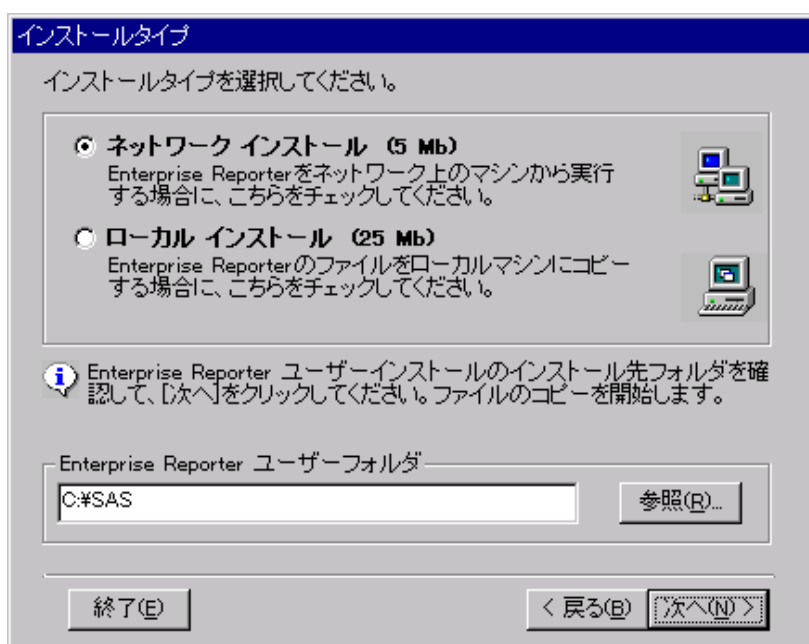


図2: インストールタイプのウィンドウ

admin.iniファイル（以下を参照）を編集すると、Enterprise Reporter Userフォルダ(C:\\$SAS)のメッセージを変更することができます（図3を参照）。

ユーザー・インストールが終了すると、各PCのスタートメニュー・ボタンの下にEnterprise Reporterソフトウェアとクイックツアーという、新たなプログラムが2個追加されます。さらにEnterprise Reporterソフトウェアを起動する新しいアイコンが、Windowsのデスクトップに自動的にコピーされます。

対話式学習ツールであるクイックツアーは、ローカル・バージョンをインストールした場合でも、各PCにはインストールされず、ネットワークにアドミニストレーター・インストールを行っているときにインストールされます。各ユーザーには、ネットワーク上のクイックツアーへのショートカットがあります。

ローカルでインストールしたSASシステムがある場合、ユーザーはローカル環境(このマニュアルの後のほうを参照)にEnterprise Reporterソフトウェアを組み込んで、ローカルのSASシステムライセンスを更新する場合があります。この場合、ユーザーは必要に応じてSASシステムのバージョンをリリース6.12 TS045に更新してください。

SAS System Editionのインストールが完了すると、各ユーザーのスタートメニューにEnterprise Reporterソフトウェアライセンス更新プログラムが追加されます。ユーザーがこのプログラムを実行すると、Enterprise Reporter Configファイル(config.sas)の位置を指定するよう指示がありません。ライセンス更新プログラムでは、このConfig.sasプログラムのネットワーク上の位置がわかっています。

ディスク容量

Standard Edition

- Administrator Installation, Software, Quick Tour, User Installation.....140MB
- User Installation, Local version.....110MB
- User Installation, Network version.....5MB

SAS System Edition:

- Administrator Installation, Software, Quick Tour, User Installation.....60MB
- User Installation, Local version.....25MB
- User Installation, Network version.....5MB

ハードウェア・ソフトウェア環境の概要

Enterprise Reporterソフトウェアを実行するために推奨される最低要件は、以下のとおりです。

- Windows 95またはWindows NT Version 4.0 Service Pack 3以降
- Pentiumプロセッサ 100 MHz
- メモリ32 MB
- インストール後、50 MBのディスク空き容量
- SVGAモニタ

上記の要件に満たないハードウェア構成でもEnterprise Reporterソフトウェアを実行できますがお勧めいたしません。パフォーマンスを向上させたい場合は、PCにメモリー等の追加をご検討ください。

注：デフォルトのプリンタは、Enterprise Reporterソフトウェアを起動する前に、Windowsで指定する必要があります。

ショートファイル名のインストール

Enterprise Reporterソフトウェアのインストールでは、Windowsのショートファイル名をサポートしておりませんので、ご注意ください。

Novellネットワークを使用する場合は、使用しているネットワークのオペレーティング・システムを更新して、ロングファイル名をサポートすることができます。詳細は、以下のURLをご参照ください。

<http://www.novell.com>

Windowsオペレーティングシステムファイル

Enterprise Reporterソフトウェアのインストール・プログラムの実行時には、Oleaut32.dllファイルのバージョンを更新する必要があります。使用するWindowsのバージョンが古いか、不完全な場合は、インストールの開始時に以下のメッセージが表示されることがあります。

(MSVBVM50.DLLファイルは欠落エクスポートOLEAUT32.DLL:421にリンクされています。)

この問題を解決するには、Oleaut32.dllファイルのバージョンを更新します。Enterprise Reporter CDのルート・フォルダで、Oleaut32.infというファイルを探します。このファイル上でマウスの右ボタンをクリックし、ポップアップ・メニューから'インストール'を選択します。

必要なファイルがWindowsオペレーティング・システムにコピーされます。この処理時に、PCを起動しなければならない場合があります。この場合は、再度、アドミニストレーター・インストールを実行してください。

SASシステムのバージョンの更新

Enterprise Reporterソフトウェアで正しく印刷を行うために、SASシステムの現在のバージョンのファイルは、アドミニストレーター・インストールの実行時に自動的に更新されます。これは、!sasroot¥dbcs¥sasdll¥sasvwu.dll、sashost.dllというファイルで、sasrootはSASシステムを含むフォルダです。これが当てはまるのは、メンテナンス・レベルTS045の場合のみですので、注意してください。

既存のファイル名がsasvwu.old、sashost.orgに変更され、このファイルの新しいバージョンがインストール時に自動的に保存されます。

Enterprise Reporterソフトウェアのアドミニストレーター・インストールの終了後に、ライセンス情報の更新を行ってください。

Windowsのレジストリの更新

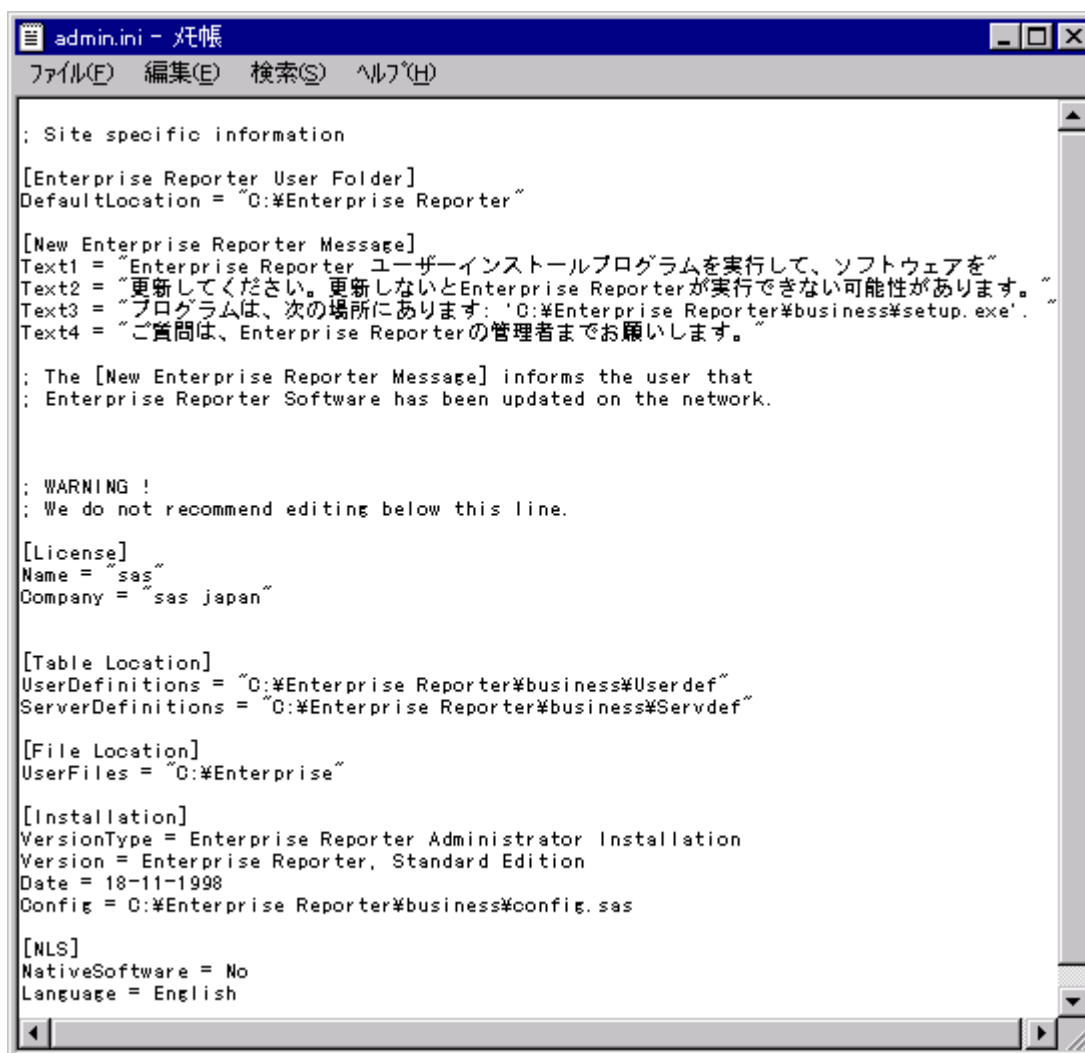
Enterprise Reporterソフトウェアのインストール時に、アドミニストレーターおよびユーザー・インストール・プログラムのどちらも、Windowsレジストリの更新をする特権が必要です。Windows NTの場合は、システムアドミニストレーターとしてログオンすることが要求されることが多いので注意してください。

Enterpri.regファイルによって以下の情報が登録されます

- Enterprise Reporter バージョンの位置
- Enterprise Reporter のファイル・タイプ : erp, erf, ers, erd, and ert
- Enterprise Reporter へのシェル・コマンド (Open, Print, ...)
- Enterprise Reporter アンインストール情報
- SASシステムのOCX : sasedit.ocx 及び sascombo.ocx
- WindowsシステムのOCX : comdlg32.ocx 及び comctl32.ocx

アドミニストレーター初期化ファイル(admin.ini)

アドミニストレーター・インストール時に、導入環境に合わせてEnterprise Reporterソフトウェアをカスタマイズすることができます。入力する情報は、ネットワーク上のEnterprise Reporterフォルダ(... ¥ Business)内のファイル(admin.ini)に保存されます。



```
; Site specific information

[Enterprise Reporter User Folder]
DefaultLocation = "C:\Enterprise Reporter"

[New Enterprise Reporter Message]
Text1 = "Enterprise Reporter ユーザーインストールプログラムを実行して、ソフトウェアを"
Text2 = "更新してください。更新しないとEnterprise Reporterが実行できない可能性があります。"
Text3 = "プログラムは、次の場所にあります: 'C:\Enterprise Reporter\business\setup.exe'."
Text4 = "ご質問は、Enterprise Reporterの管理者までお願いします。"

; The [New Enterprise Reporter Message] informs the user that
; Enterprise Reporter Software has been updated on the network.

; WARNING !
; We do not recommend editing below this line.

[License]
Name = "sas"
Company = "sas japan"

[Table Location]
UserDefinitions = "C:\Enterprise Reporter\business\Userdef"
ServerDefinitions = "C:\Enterprise Reporter\business\Servdef"

[File Location]
UserFiles = "C:\Enterprise"

[Installation]
VersionType = Enterprise Reporter Administrator Installation
Version = Enterprise Reporter, Standard Edition
Date = 18-11-1998
Config = C:\Enterprise Reporter\business\config.sas

[NLS]
NativeSoftware = No
Language = English
```

図3: Enterprise Reporterソフトウェア初期化ファイルの例(admin.ini)

admin.iniファイルに保存した情報を更新する必要がある場合は、再度アドミニストレーター・インストールを実行することをお勧めします。admin.iniファイルの最初の部分に含まれる2つの設定は、admin.iniファイルを編集するだけで変更できます。この2つの設定は以下の通りです。

[Enterprise Reporter User Folder]

Enterprise Reporterユーザー・フォルダの推奨名。このフォルダは、ユーザー・インストール時に使用します（図2を参照）。

[New Enterprise Reporter Message]

ローカルのバージョンを更新する必要があることをユーザーに知らせる、ユーザーへの情報。ユーザーがEnterprise Reporterソフトウェアを起動したときに、メッセージ・ウィンドウに4行で表示されます。

以下の設定は、アドミニストレーター・インストール・プログラムによって作成・更新されます。

[License]

ソフトウェアをインストールした人と、インストールされている場所を識別するため、ヘルプ・メニューのEnterprise Reporterで、名前と会社名が使用されます。

[Table Location]

ユーザー管理で使用される表の位置と、データ管理で使用されるサーバ定義の位置。

[File Location]

各ユーザーのユーザー・ファイルおよびフォルダの位置。この位置は、すべてのユーザーがアクセスできるようにローカル・ドライブ、たとえばC:¥、でなければなりません。このフォルダは、ユーザーが初めてEnterpriseReporterソフトウェアを起動したときに自動的に作成されます。

[Installation]

インストールされているEnterprise Reporterソフトウェアのバージョンを記述します。この情報は、ヘルプ・メニューからアクセスしたEnterprise Reporterが使用されます。Dateフィールドはバージョンの管理に使用します。この日付が、ローカル・インストールの日付よりも新しい場合は、ユーザーに警告を知らせます。

ユーザー初期化ファイル

ユーザー・インストールの後、ローカルのadmin.iniファイルが作成されます。以下にネットワークおよびローカル・インストールによるadmin.iniファイルの例を示します

(以下を参照)。

- ・ネットワーク・インストールのadmin.iniファイル

```
[Installation]
NetworkLocation = "U: ¥ SAS ¥ Business"
VersionType = Enterprise Reporter Network Installation
Date = 17-05-1998
```

- ・ローカル・インストールのadmin.iniファイル

```
[Installation]
NetworkLocation = "U: ¥ SAS ¥ Business"
VersionType = Enterprise Reporter Local Installation
Date = 17-05-1998
```

Enterprise Reporterソフトウェアが起動すると、アドミニストレーターadmin.iniファイルの位置が読み出されます。この情報は、2行目(NetworkLocation)に格納されます。Enterprise Reporterが指定された位置に接続可能な場合は、以下の事象が発生します。

- ・ タイプが"Local Installation"の場合は、インストールの日付がチェックされ、ローカル・バージョンを更新する必要がある場合は、ユーザーに対するメッセージが表示されます。
- ・ ログイン・ウィンドウが表示されます。

アドミニストレーターadmin.iniファイルに接続できない場合は、ユーザー管理なしでEnterprise Reporterソフトウェアのローカル・インストールが実行されます。ログイン・ウィンドウは表示されません。

Enterprise Reporter ソフトウェアライセンスの更新

ライセンス更新プログラムは、Enterprise Reporter CDに収録されています。アドミニストレーター・インストールあるいはローカル・インストールを実行した場合は、スタートメニューの下にあります。

アドミニストレーターは、SAS System Editionシステムのネットワーク・バージョンやEnterprise Reporter Standard Editionのネットワーク・バージョン上で実行するすべてのユーザーに対してライセンスを更新することができます。ライセンス更新プログラムを起動して、ネットワーク上の正しいEnterprise Reporterのconfigファイルを指定していることを確認してください。

注：ライセンス更新プログラムは、admin.iniファイルの日付を自動的に変更しません。



図4: ライセンス情報追加ウィンド

ライセンス更新プログラムを実行すると、ネットワークのライセンス情報が更新され、ライセンス情報ファイル(setinit.sas)がEnterprise Reporterフォルダにコピーされます。ローカルのEnterprise Reporter、SAS System Editionのユーザーは、ライセンス更新プログラムを実行する場合に、このファイルを使用します。

ライセンス情報をStandard EditionのEnterprise Reporterのローカル・インストール内に保存しているユーザーは、以下の手順のいずれかによりライセンスを更新する必要があります。

- Standard Editionのローカル・インストールを再度行います。アドミニストレータはネットワークのadmin.iniファイルの日付を変更することができ、この方法で、Enterprise Reporterにユーザーへの通知を自動的に行います。
- ローカルのEnterprise Reporterバージョンで直接、ライセンス更新プログラムを実行します。

SAS System EditionをローカルのSASシステム環境に組み込んでいるユーザーは、ローカルのSASシステムへライセンスの更新を行う必要があります。これらのユーザーは、ライセンス更新プログラムを実行し、ライセンスを適用します。

Enterprise ReporterソフトウェアをSASシステム環境に統合する

Enterprise Reporterソフトウェアをご使用のローカルSASシステム環境に統合するには、以下の手順を完了する必要があります。

- SASシステムソフトウェアのバージョンをリリース 6.12 TS-045に更新する
- ローカルSAS System Editionのライセンスを更新する（上を参照）
- SASシステムConfigファイルを変更する（以下を参照）
- Enterprise ReporterソフトウェアをAFコマンドで起動する（以下を参照）

```

-SET BUSROOT "C: ¥ SAS ¥ Business"
-HELPLOC !BUSROOT ¥ Winhelp
-   ELP (
        !BUSROOT ¥ SASHELP
        !SASROOT ¥ JAPANESE ¥ SASHELP
        !SASROOT ¥ SASCFG
        ....
-PATH   (
        !BUSROOT ¥ DBCS ¥ SASEXE
        !SASROOT ¥ AF ¥ SASEXE

```

図5: Enterprise Reporterの必要な変更を含むSASシステムファイルの一部

お使いのSASシステム Configファイルに、以下の変更を加えてください。

- SASROOTを定義するセクションに、BUSROOTの定義を追加します。BUSROOTとは、Enterprise Reporterフォルダの論理名です。
- Enterprise Reporterファイルの位置を追加します。
- SASHELPライブラリのサーチパスに、!BUSROOT ¥ SASHELPを追加します。
- PATHライブラリのサーチパスに、!BUSROOT ¥ SASEXEを追加します。

SASシステム Configファイルを保存しSASシステムを起動します。これで、Enterprise Reporterを、他のSAS/AFソフトウェア アプリケーションと同様、AFコマンドを用いて起動することができます。

AF C=sashelp.business.start.scl

これで、ご使用の構成に含まれる既存のどのSAS/AFアプリケーションにも、Enterprise Reporterソフトウェアを統合することができます。

以下の設定をご使用の構成に適用することもできます。これらの設定はオプションですがEnterprise ReporterをWindowsのデスクトップから直接起動したい場合に有効です。SASシステムConfigファイルの任意の場所に、以下の設定を挿入します。

```

.....
-awstitle 'Enterprise Reporter'
-noawsmenumerge
-icon
-font 'MS ゴシック' 9
$HIDECURSOR
.....

```

図6: Enterprise Reporterのオプションの変更を含む、SASシステムConfigファイルの一部

これらのオプションの一部(noawsmenumerge, icon, font)も、AFアプリケーションからEnterprise Reporterソフトウェアを呼び出す前に、オプションのステートメント内に指定することができます。

Enterprise ReporterソフトウェアをWindowsのデスクトップから直接起動する場合は、アイコンを作成します。このアイコンは、変更した構成ファイル(config.sas)を含むEnterprise Reporterフォルダ内のErsas.exeファイルを実行します。

リンク先 c: ¥ sas ¥ business ¥ erasas.exe / config=c: ¥ sas ¥ config.sas

注 : Windows版 SAS システム 6.12 TS045を実行している場合は、sasvwu.dllを!busroot ¥ dbcs ¥ sasdllから!sasroot ¥ dbcs ¥ sasdllにコピーすることをお勧めします。最初に既存のファイルsasvwu.dllとsashost.dllを、sasvwu.oldとsashost.oldという名前に変更することをお勧めします。

変更前と変更後

sasvwu.dll → sasvwu.old

sashost.dll → sashost.old

Enterprise Reporter (バージョン1.0) インストールガイド

1998年11月26日 初版第1刷発行

発行元 株式会社SASインスティテュートジャパン

〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1 イヌイビル・カチドキ8F

電話 03(3533)3760

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL : 03 (3533) 3877 FAX : 03 (3533) 3781